



ニュースポーツ広場でストリート系のスポーツを楽しむ若者の姿が絶えない、みなとのもり公園。目を他の場所に移すと他にもさまざまなスポーツに親しむ利用者がたくさん見られる。

神戸市内で居酒屋の店長として働く河野裕之さんは、芝生広場でタッチフットボールを楽しんでいる。アメリカンフットボールのタックルをタッチに置き換えて安全に楽しめるようにしたスポーツだ。「非常に便利な場所なので、メンバーが集まりやすくチームスポーツにも最適」と話す。

お父さんがタッチフットボールに参加するということで、大阪から家族と一緒に遊びにきたのは古賀典子さん、丈太郎くん（小学校6年生）、なつちゃん（小学校5年生）。なつちゃんは学校でバスケットボールをやっているので、ニュースポーツ広場の横のバスケットボールコートでシュートの練習に夢中だ。

芝生広場ではサッカーを楽しむ利用者も多い。貿易で名をはせている神戸市を象徴するかのよう、外国人が加わった国際色豊かなチームがプレーしていることもある。

芝生広場の周りには、1周約460mのランニングコースも大人気。雨が降っていてもジョギングやランニングをする人の姿が見られる。市内のスポーツ用品店が、有名運動具メーカーと組んで、ランニング教室を開くことも。毎年8月末から9月初めには、「神戸リレーマラソン」が開催されている。460mのコースを100週近く回って42.195kmを走りきるイベントだ。数人のグループをつくり、リレー方式で走るレースに1000人以上が参加している。